

経営比較分析表（平成28年度決算）

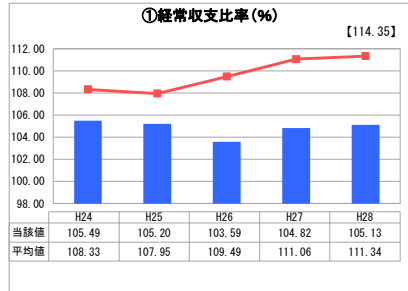
北海道 日高町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	61.83	84.84	5,004	

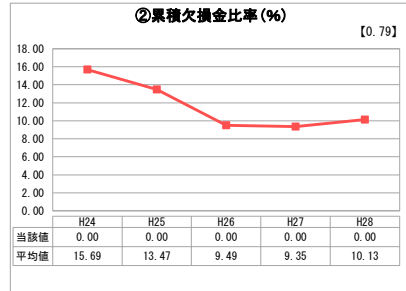
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,531	992.11	12.63
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,355	134.89	76.77

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

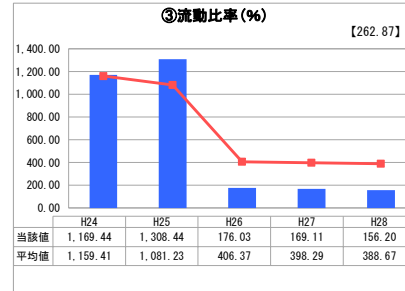
1. 経営の健全性・効率性



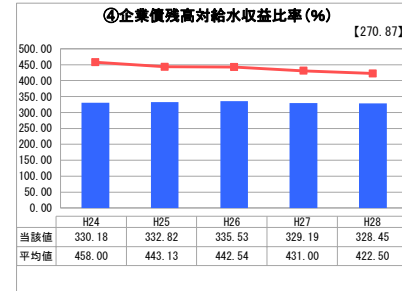
「経常損益」



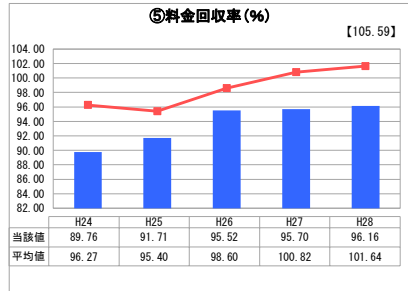
「累積欠損」



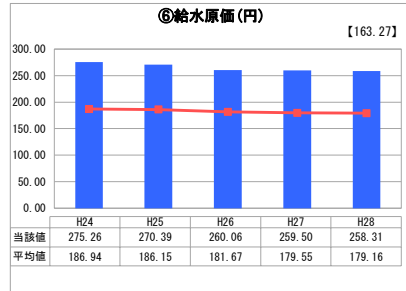
「支払能力」



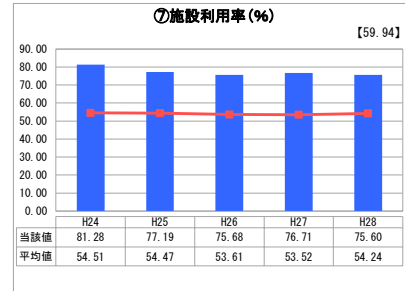
「債務残高」



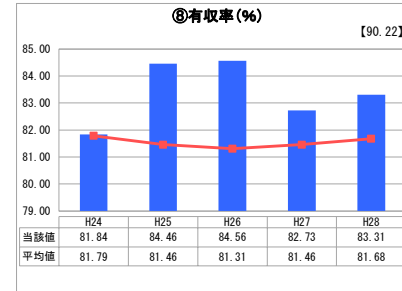
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

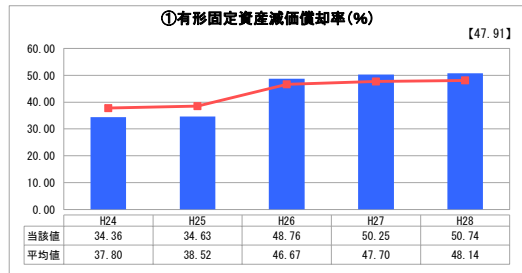


「施設の効率性」

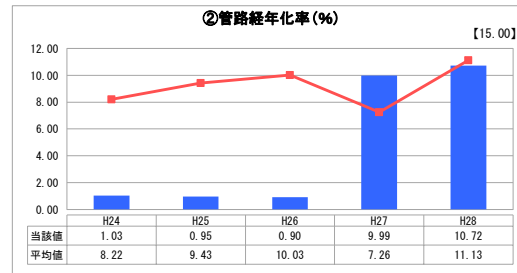


「供給した配水量の効率性」

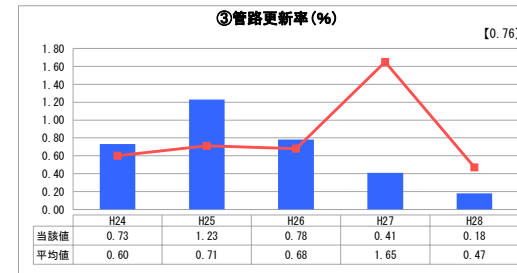
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は若干100%を上回っているが、料金回収率が類似団体平均値より低い状況であることから、料金収入の確保、費用の更なる削減を図るとともに、経営健全化に向けて改善点を洗い出していくよう努める。

流動比率は、前年同様に現金の大幅な減少もなく適切な水準である。

企業債残高対給水収益比率も類似団体平均値より下回っており、先送り事業もなく、適切な投資規模である。

給水原価については、経年比較では大きな変化はないが、類似団体平均値を上回っており、更なる維持管理費の適正に努める。

施設利用率及び有収率については、経年比較で大きな変化はなく、類似団体平均値を上回っており適切な水準である。今後も適切な施設規模の把握及び施設稼働に努めていく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、昨年度とほぼ横ばいの水準となっているが、今後も適正な施設更新に努める。

管路経年化率については、類似団体平均値をやや下回っている。現在、計画的な管路更新事業を進めているところであり、更新等の財源の確保や必要に応じて経営改善の実施を検討する。

全体総括

経常収支比率が類似団体と比べ低い水準であるため、今後も経常費用について改善点をしっかり洗い出すよう努める。

管路更新については、管路更新率が類似団体平均値より低い水準であるが、計画的に更新事業を進めているところであり、今後も経営状況を見据えながら良質な水を安全に供給できるよう努めなければならない。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。